

## (自己評価用)理学療法専門技術についての到達目標

分類	項目	達成状況												特記事項(達成の可否やその内容)	
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
理学療法プロセス	1 既往歴・現病歴、安静度や禁忌注意事項など理学療法を開始する上で必要な情報を収集できる														
	2 安静度や画像・検査データ、経過表などを確認できる														
	3 疾患・障害に対して、適切な評価項目を選択できる														
	4 患者の全体像を把握できる														
	5 得られた情報から対応すべき課題・問題点を抽出できる														
	6 入院中のゴール設定ができる														
	7 アセスメントに合わせたプログラム立案ができる														
	8 随時、理学療法のプログラム・ゴール設定を見直すことができる														
	9 対象者・家族に対して評価結果、治療方針等を説明できる														
理学療法評価	1 意識レベルを判定できる														
	2 関節可動域、感覚、筋力、疼痛、ADLなどが評価できる														
	3 運動器疾患に関していくつかのスケールを用いて評価できる														
	4 中枢神経疾患に関していくつかのスケールを用いて評価できる														
	5 内部障害疾患に関していくつかのスケールを用いて評価できる														
	6 入院前の生活環境や活動状況の情報収集ができる														
	7 家族や支援の有無など患者背景についての情報収集ができる														
理学療法治療技術	1 関節可動域運動を実施できる														
	2 筋力増強運動を実施できる														
	3 バランス練習を実施できる														
	4 基本的動作練習を実施できる														
	5 移動動作練習を実施できる														
	6 日常生活動作練習を実施できる														
	7 各種車椅子・福祉用具等の選定・調整・操作を行うことができる														
	8 義肢装具の適合を確認することができる														
	9 自主練習の方法を対象者・家族等に指導することができる														
	10 介助方法を家族・職員等に指導することができる														
	11 患者の管理物について理解できる														
	12 退院時指導ができる														

判定  
 未:未実施  
 ✓:実施中  
 ○:達成